

多様な働き方を支援する 富士通のネットワークソリューション のご紹介

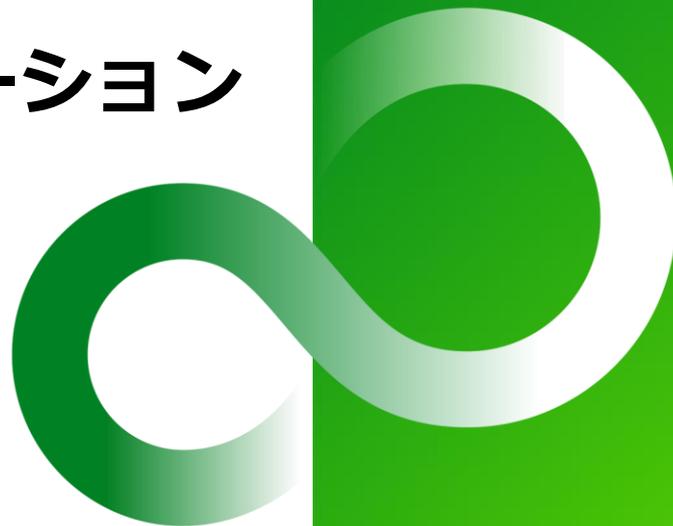
2022年9月13日(火)

富士通株式会社

インフラストラクチャシステム事業本部

エンタプライズネットワーク事業部

茂木 海彦



本日本話しする内容

お客様の新しい働き方に対応した富士通のネットワークソリューションを皆様と関連の深いテレフォニーを中心にお話しします。

1. お客様の働き方の変化
2. ハイブリッドワークを支える
富士通のテレフォニーソリューション
3. 快適なハイブリッドワークに向けて
さらに富士通がお手伝いできること

お客様の働き方の変化

コロナを契機に働き方が変化

コロナ前

出社型の「オフィスワーク」



・アイデア創出



・気軽に相談

コロナ禍

在宅等の「テレワーク」



・感染症対策
・災害対策



・仕事と育児/介護両立



・自分の仕事に集中

コロナ前とコロナ禍の働き方の変化から、個人と企業にとって最適な働き方へ

これから

ハイブリッドワーク（オフィスワーク×テレワーク）

従業員が業務に応じて自律的に勤務時間と場所を選択

→ 従業員の公平性やウェルビーイングを向上

→ 生産性を向上

オフィス

サテライトオフィス



自宅

ワーケーション

ハイブリッドワークを支える 富士通のテレフォニーソリューション

どこにいても 顧客対応、社員間のコミュニケーションが行える
利便性の高いツール/環境で業務が行える

従来の電話環境のままでは、ハイブリッドワークの実現は難しい

① **オフィス外では電話対応できない**
顧客の電話対応のために出勤が必要。
オフィスで受けた電話は、テレワーク中の
担当者には取次ぎできない。

③ **設備の一新では費用負担が大きい**
従来の設備からハイブリッドワークを実現で
きる新しい設備にまるごと置き換えるのは、
費用負担が大きい。



② **電話の設定変更に時間がかかる**
新型コロナや災害、交通機関のトラブルで
出社ができなくなった。そうした緊急時も、
転送先などの電話設定は総務に依頼しな
いと変更できない。

④ **複数の端末の操作が面倒**
電話機、PC、業務専用端末…
いろいろ操作しないとイケないし、端末の
管理も煩わしい。

課題を解決する富士通のソリューション

① オフィス外では電話対応できない

② 電話の設定変更にかかる時間がかかる

③ 設備の一新では費用負担が大きい

④ 複数の端末の操作が面倒

① スマホをオフィス外でも内線利用でき、どこでも電話対応可能

② 利用者のブラウザから、簡単・タイムリーに設定変更可能

③ 既存設備を継続して使用でき、コストを最小化

④ スマホに業務アプリも内線も集約し、業務効率化

オンプレ型



ソフトウェアPBX

スマホやPCに端末を集約

既存オフィス
既設端末

※既設端末收容には専用GWを設置

フリーアドレス
オフィス

内線電話

在宅・外出先

内線電話

外線電話

電話
業種アプリ
電話帳
チャット
自動化
他社ツール

クラウド型



クラウドトーク EX

スマホやPCに端末を集約

既存オフィス
既設端末

フリーアドレス
オフィス

内線電話

在宅・外出先

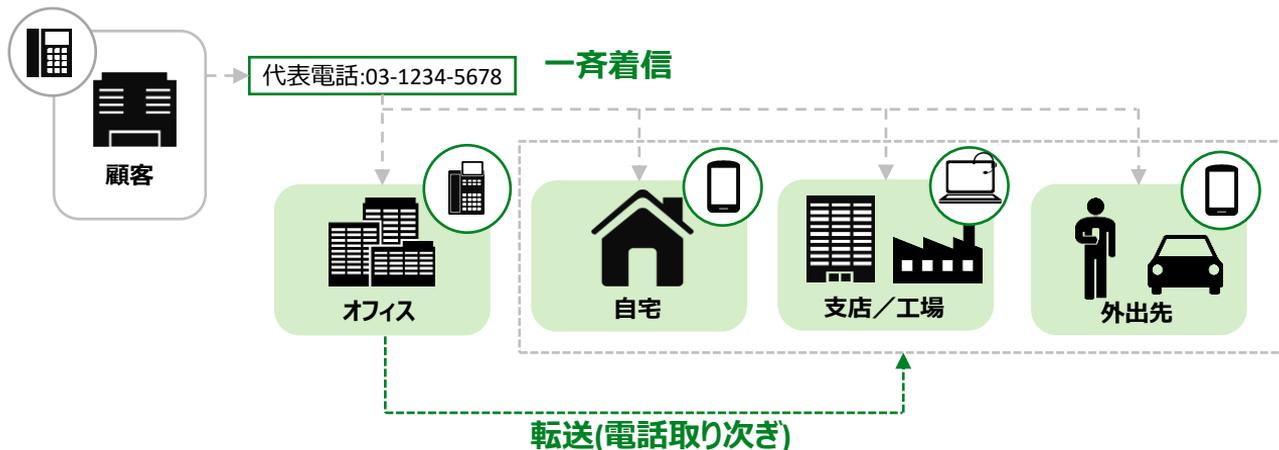
内線電話

外線電話

電話
業種アプリ
電話帳
チャット
自動化
他社ツール

- オフィスと同じように、顧客からの電話応答ができ、ビジネス機会を逃さない

- ✓ 顧客から代表電話番号への着信時、オフィスの固定電話機のほか、自宅や外出先のスマートフォンにも一斉に着信
- ✓ 内線機能(転送、ピックアップ、グループ保留)が使えるので、スマートフォンにも、電話取り次ぎ可能



- 日々の電話運用は、ブラウザで簡単・タイムリーに対応可能



- ✓ ブラウザ操作で直観的に設定
属人的であった電話管理業務が誰でも実行可能
- ✓ システム設定の管理者権限を3つのレベルで設定
レベルに応じて、設定できる範囲を制限
- ✓ 利用者自身で固定電話機の転送先やピックアップグループを設定

● 既存設備を活用しながら、新しいシステムを最小限のコストで導入可能



- ✓ 利用中の固定電話機やPHSをそのまま使用可能
- ✓ 利用中のスマートフォンやPCにアプリを入れるだけで内線電話として利用
- ✓ 既存のPBXをそのまま活用し、段階的に新システムへ移行およびシステム拡張を実現
- ✓ PBX機能をソフトウェアで提供することで、規模やニーズに応じたシステム構築を提供
- ✓ 業務システムが稼働している既存サーバや、クラウド環境にインストールすることでTCO軽減

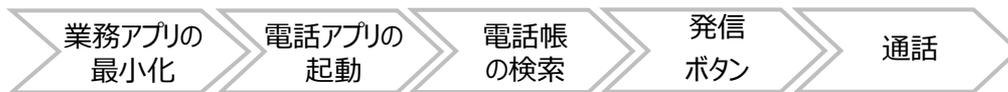
● 業務アプリと内線電話の機能連携で、快適に業務を遂行

- ✓ 例えば、病院においては、連絡用PHS、業務用PDA、巡回用PCの機能を、1台のスマートフォンに集約し、業務対応可能



- ✓ 業務アプリ上の発信ボタンのワンタップで電話発信

業務アプリ/内線電話が連携していない場合

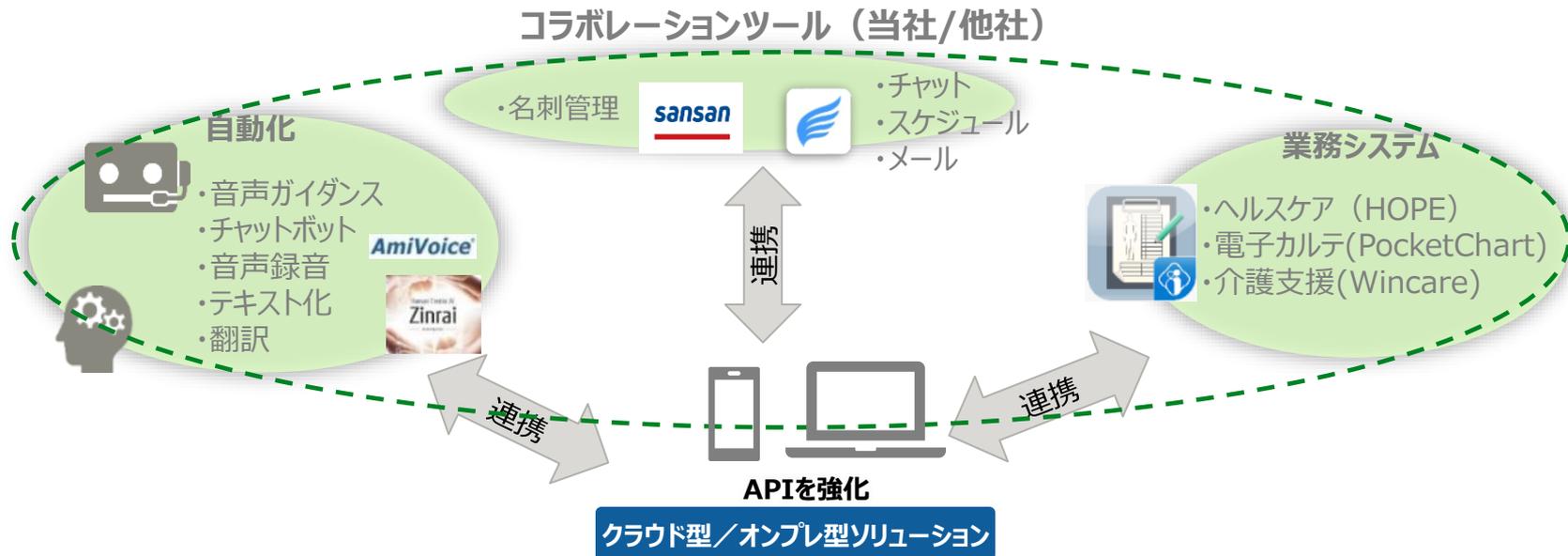


業務アプリ/内線電話が連携している場合



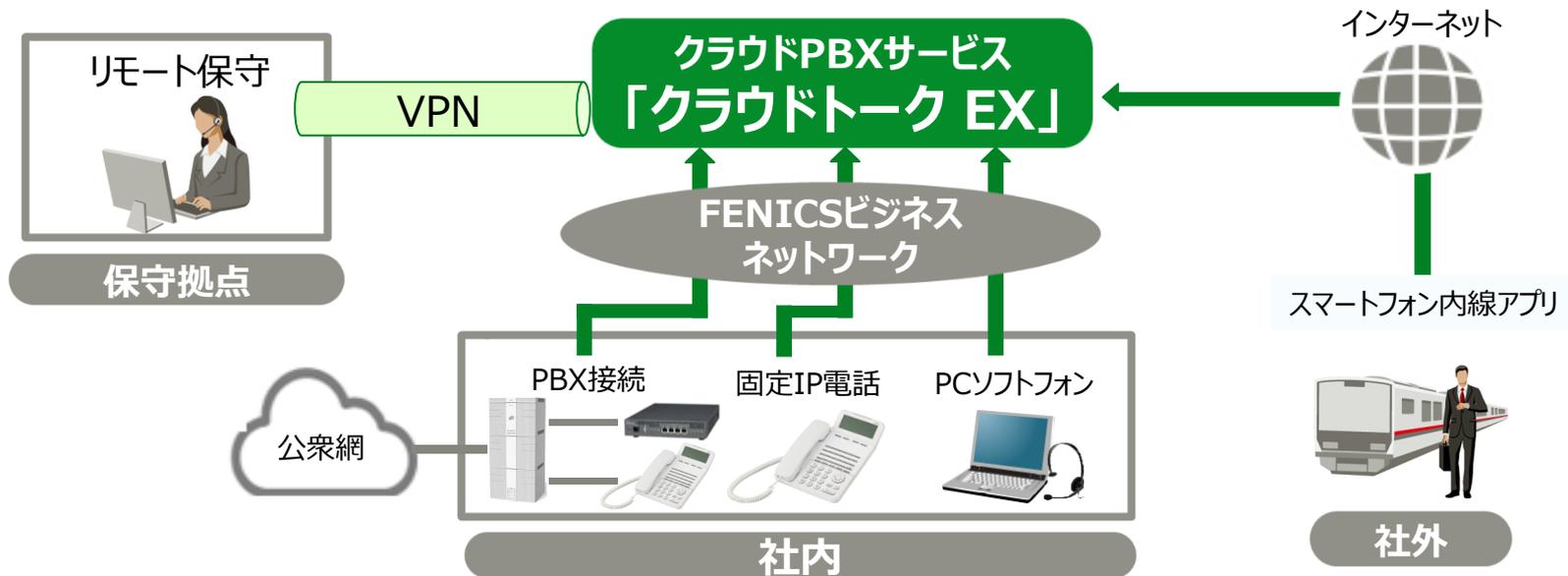
音声コミュニケーションを起点にエコシステムを構築

- コラボレーションツールや業務システムと音声の連携により業務効率化を実現
- デジタル技術との連携により生産性向上を実現



富士通のクラウドPBXサービス

- ハイブリッドワークでも利用可能なクラウド型のテレフォニーソリューション
- ソフトウェアPBX同様、スマートフォン、PCの利用、既存PBXとの接続を提供



スマホ内線を中心に案件増加中

スマートフォン活用のための既設PBXへのクラウドトーク EXを追加導入

<ポイント>

○導入費用が安価でスタートしやすい

- ・電話運用は変わらないが一部テレワーク対象者に適用しやすい

○富士通製内線アプリによるスマートフォンの内線活用

- ・内線を社外でも利用できる
- ・発番号を透過したPBXとの連携
- ・PHSの後継として活用

○固定電話～スマホ内線まで富士通で提供

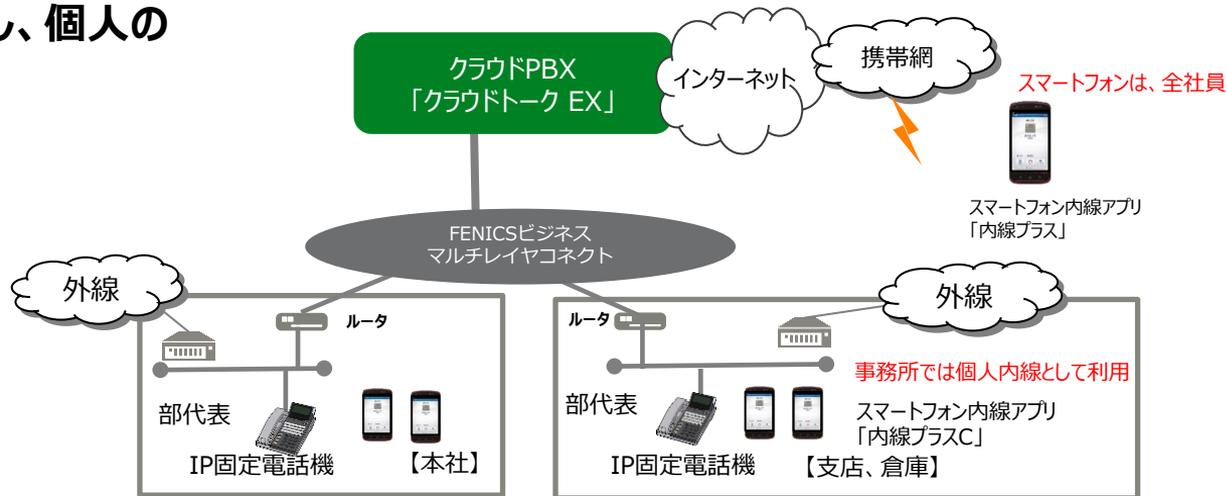
- ・外線、内線を安心して利用できる（PBX、クラウドPBXのサポート別に不満あり）



WAN更改に合わせてクラウドトーク EX導入

<ポイント>

- ネットワークの更改を契機に音声システムの見直しも検討
- 社給iPhoneがあるため**在宅勤務で外線対応できるスマホ内線がテレワーク対応に効果的**
- スマートフォンに電話機能を統合し、固定電話機の台数を削減
スマホ内線を内勤者にも適用し、個人の固定電話機を削減



快適なハイブリッドネットワークに向けて さらに富士通がお手伝いできること

無線LANアクセスポイント SR-Mシリーズ

SD-WAN/LANプラットフォーム NXconcierge

無線LANを利用したスマホ内線導入やオフィスのフリーアドレス化に利用可能なSR-Mシリーズ

SR-Mシリーズの特長 ～ 4つのS ～

Stylish シンプルですっきりしたデザイン

Stable Wi-Fi6、スループットの均等化

Smart カンタンに使える（トラブルの自動診断、外来波の学習）

Sustainable 被災時用無線LAN「00000JAPAN」を即座に提供



SR-M630AP1

- トライバンド（2.4GHz×1,5GHz×2）
- 最大合計速度約3Gbps
- 有線ポート2個搭載
- スマートワイヤレスマネージャー

SR-M610AP1

- デュアルバンド（2.4GHz×1,5GHz×1）
- 最大合計速度約1.8Gbps
- 小型・軽量、省電力

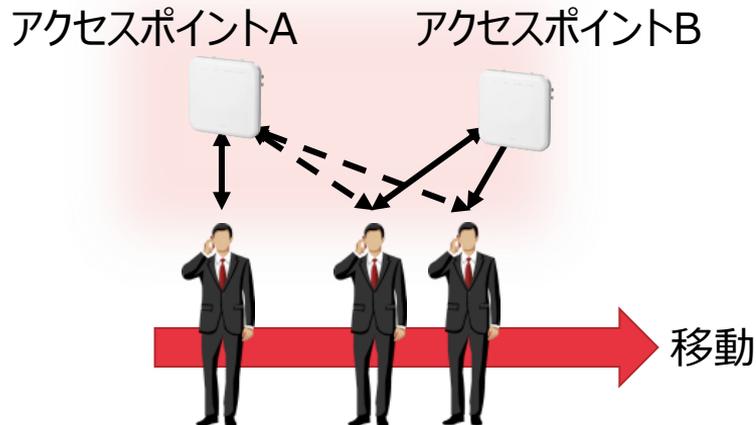
無線LANを利用したスマホ内線導入支援

工場など遮蔽物が多く通信キャリアの電波状態が悪い場所は、無線LANを利用したスマホ内線導入が効果的

一方で、

無線LAN利用では、ローミングのチューニングや、機器同士の相性問題等、留意すべき点あり

- 無線LANを利用したスマホ内線導入のためのガイドラインを提供
- 万一のトラブルの際にも迅速に対応



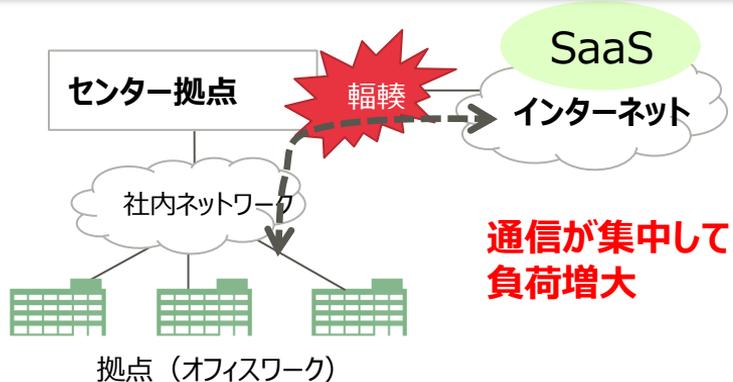
SaaS利用時のネットワークの課題解決

ハイブリッドワークでWeb会議(SaaS)の利用増加

インターネットの出口でボトルネックが発生し通信品質低下

拠点から直接にインターネットアクセスするインターネットブレイクアウト

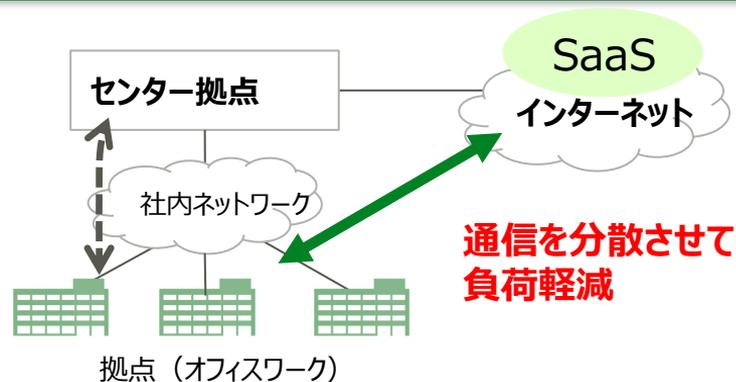
ネットワークの課題



センター拠点がボトルネックになり、
SaaSとの通信が遅い



ボトルネックを回避して、拠点から直接にアクセス



SaaS通信のみをブレイクアウトし、
快適な通信を実現

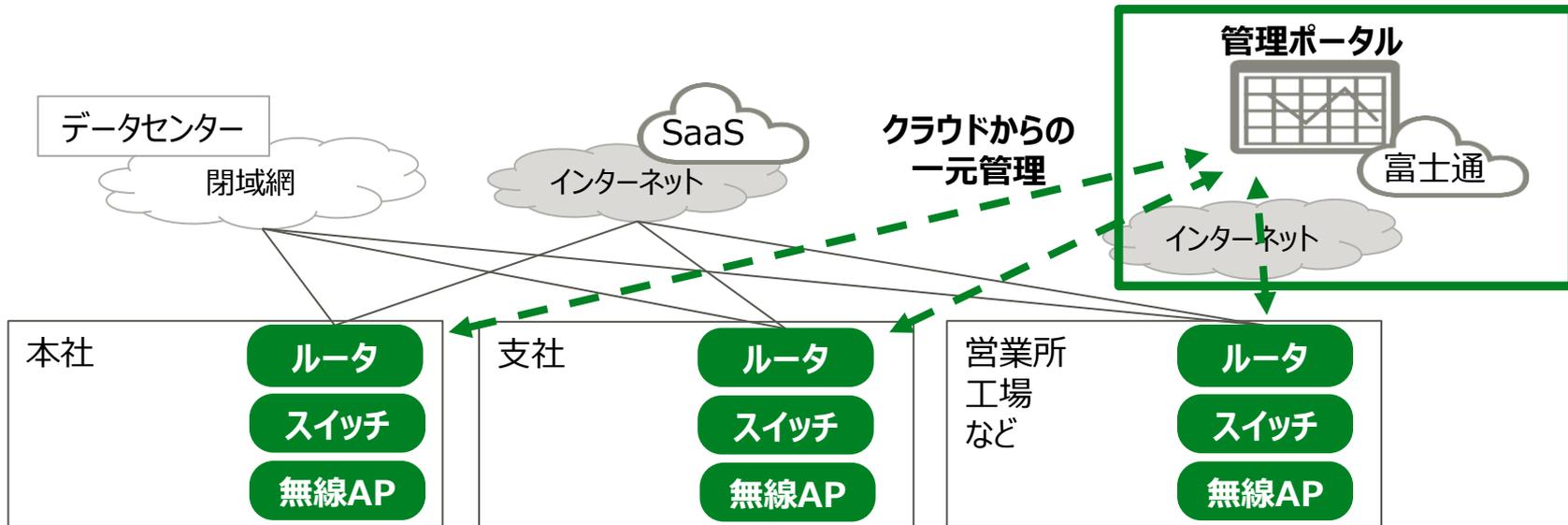
快適にSaaSアクセス可能なソリューション

インターネット上の管理ポータルからネットワーク機器を一元的に管理するNXconcierge

【特長】

1. 増加するクラウドへのトラフィックの最適化
2. モバイル機器の持ち込み等へのセキュリティ対策
3. 複雑化するネットワーク運用の省力化

(インターネット・ブレイクアウト等)
(拠点端末の可視化、遮断等)
(ネットワーク機器の遠隔管理)



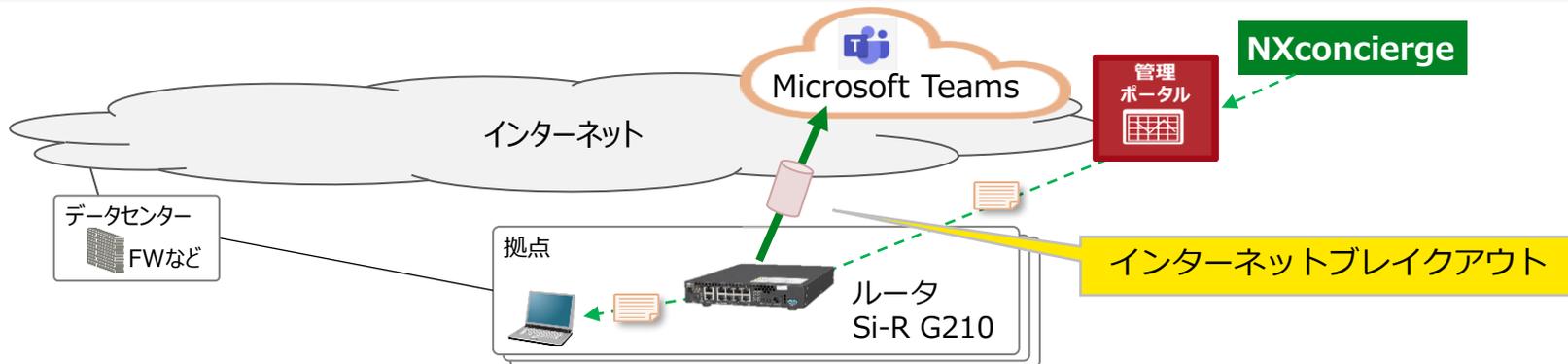
事務所移転を機に音声通話/テレビ会議システムをMicrosoft Teamsに一新、今後の更なるSaaS利用拡大を見込みインターネットブレイクアウトを導入

課題

- ・移転前のインターネット回線は遅延が発生しており、このまま**SaaS導入を推進しても、快適に使用せず、投資対効果が得られない**のではと心配
- ・まずはMicrosoft Teamsを導入したいが、アクセス先が頻繁に変わるため、その**追従のための運用負荷の増大**も懸念

解決策

- ・NXconciiergeによる**インターネットブレイクアウトの実現**でトラフィック量増大に伴う通信の輻輳を回避し、**快適な利用環境を実現**
- ・主要SaaSのアクセス先情報の**自動更新**と、ネットワーク機器だけでなく端末への設定も**自動生成/配信**できるため、**運用の効率化も実現**



最後に

お客様の働き方が変化していく中、富士通は

- ・ハイブリッドワークに適したテレフォニーソリューションを
オンプレ型／クラウド型の両輪で提供します**
- ・ハイブリッドワークに関連するネットワークの課題を
トータルに解決し、お客様の働き方改革を支援します**

Thank you

